

3.3. 満足感・成就感

生活科は、子供が具体的な活動や体験を通して体全体で学んでいく教科です。そして、子供の中に実感と納得を伴うことを大切にします。

また、生活科の学習では、子供の思いや願いを大切にし、子供がその実現に向かって主体的に活動することによって、満足感や成就感を得ることを大切にします。

満足感・成就感とは

満足感・成就感は、子供が、自分を取り巻くさまざまな環境にかかわりあいながら、自分ごととして夢中になって取り組むことによって、「やった」「できた」という喜びや「～だったんだ」といった納得を得た時、実感されるものである。

その満足感・成就感が「自信」につながり、活動をさらに発展させていこうとする「意欲」や「やる気」を生む原動力になる。

子供が満足感・成就感を感じる時は、

- ・自分と対象との応答関係の中で、自分の行いに納得でき、活動に対して自分なりの価値付けができた時
- ・教師や共に学ぶ仲間に活動の「よさ」を認められ、自分の活動の「よさ」をあらためて実感した時

などが考えられる。

— 実践から —

遊びコーナーを作り、みんなで楽しく遊ぶ活動を考えてみます。自分たちが楽しく遊べそうなどをそれぞれ計画し、材料を集めたり、道具を探したりして製作します。材料や道具が足りなかったり、技術が不足していたりすることによって、問題場面にぶつかり、活動が停滞してしまうこともあります。自分で調べたり、探したりすることや教師の適切な支援によって、その問題場面を乗り越え、自分たちの考えていたことが実現すると、満足感や成就感を得ます。そして、そのコーナーに他の学年の子を招待し、喜んでもらったり、「このゲームすごく楽しいよ」「とても上手にできているよ」と褒められると、満足感や成就感はさらに大きくなります。